

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和2年 10月 6日(火)
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

前期が終わり、後期が始まりました。 自分の・学級の・学校の目標に向かって頑張ろう！



先週の金曜日に前期が終わり、昨日いよいよ後期が始まりました。今回は初めて終始業式という形で一緒に行います。何人かの友達が、前期の振り返りや後期に頑張りたいことを話してくれましたね。ありがとうございます。各クラスでも前期の振り返りをしたことと思います。前期について力が後期の土台になるから、しっかり振り返りをして、スタートしましょう。前期の最初より身体も一回り大きくなっているし、たくさんの勉強をして、いっぱい力がついています。前期の始めよりも1段も2段も高くなっている今の場所・自分からスタートですよ。どんな自分になりたいかしっかり目標をもち、楽しく充実した毎日に行きましょう。

季節は秋、朝晩は寒いけれど日中はとても爽やかないい季節ですね。あっちからもこっちからも音楽が聞こえて来て、音楽会ができないのは残念だけど、学習発表会がとても楽しみです。全部の学年を聞かせてもらいますからね。音を合わせることは思っているより簡単なことではありません。友達と音を合わせようという気持ちを強くもって、自分の練習そしてみんなと合わせる練習に取り組み、クラスの力をうんと高めてください。

さて、この前、怖かったと思うけれど、爆破予告で給食の前に全校が校庭に避難するということがありましたね。校長先生はあの時出かけていて、あわてて帰って来たから後で言われて気づいたんだけど、今年になって中洲小全員が集まったのは、あの時が初めてだったんです。1年生にとっても、新しく来た先生達にとっても中洲小ってこんなにたくさんのお友達・先生がいるんだとびっくりしたことでしょう。あの時、校庭には700人位の人がいちたんですよ。でもね、もっとびっくりしたのはその数の多さではなく、それだけの人がいながら静かに落ち着いてきちんと避難し、10分間待つことができた、ということです。ああいう緊急の時に学校の力が出るんだと思いました。中洲小の学校の力はすごいですね！校長先生はとにかく何事もなくみんなが無事だったので、あの後涙が出てきてそして体の力が抜けてしまいました。後からすれ違った何人ものお友達が、「校長先生、何にもなくてよかったね！」と笑顔で言ってくれましたね。ありがとう。前にも、「学校の力」という話をしたことがあります。休業明け、コロナの感染予防で、学校の生活を新しく変えなければいけませんでした。そんな時、中洲小の皆さんは、文句を言ったりせず、自分と相手の命を守るために一生懸命約束を守っていました。私はあの頃1年生の給食のお手伝いに行っていたのですが、先生達が配っている時に本当に上手に1年生は待っていることが出来てすごかったです。毎年当たり前やって来たことが出来ず本当に悔しいけれど、出来ないからこそ工夫して頑張れていることがたくさんあります。それを大事にしていきたいですね。

体育学習発表会もそうでした。運動会は出来なかったけれど、各学年がいろいろ工夫して、一生懸命頑張っている姿に涙が出てきました。いろいろ言っても仕方ないから、今の状況でできることを精一杯、中洲小みんなが力を合わせてやっていきましょうね。皆さんの家族も、地域の方もみんな応援してくれています。

さて、校長室の前にずっと貼ってある言葉、「できなかったことが」⇒「できるようになる」これは、中洲小の目標「たくましく心温かな中洲の子」を達成するためにみんなが頑張る行動目標だけれども、その2つの間のところに、「ここがだいじ」という文字が書いてあります。各クラスにも配ってあるので見てください。できなかったことができるようになるためには、その途中で努力をしなければなりませんね。その途中こそが大事だということを表しています。前期に、皆さんもたくさんの方ができるようになりました。毎日頑張ったり、練習方法を工夫したり、くじけそうになってもあきらめないうで、頑張ることができるようになるととっても嬉しくてたまらないよね。そんな経験をたくさんしてほしいなーと思っています。この「できなかったことができるようになる」という文字を見て思い出したことがあるので、聞いてくださいね。

私が先生になって2番目の学校の時、今よりだいぶ前のことですが、その学校にはたくさんの一輪車があって、休み時間になるとたくさんのお友達も遊んでいました。私の小さい頃には一輪車などなかったので、私は

一輪車はやったことがありませんでした。子ども達は毎日練習してどんどん乗れるようになっていきます。私も乗りたいなあと思ったけれど、大人だと2ヶ月くらいかかると言われて、無理だなあと思きらめようと思いました。でも、同じ学校に、先生になったばかりの運動神経がいい男の先生がいて、その先生がみるみるうちに…2週間くらいで一人で乗れるようになってしまったんです。私は、それを見て(よ〜し、私も乗れるようになるぞー!)と密かに練習を始めました。ちょうど夏休みに入ったので、マイ一輪車を買って、休みが明けたら「見て! 乗れるようになったよ!!」とクラスの子ども達に自慢するぞー! と思って毎日毎日練習しま



した。思ったりずっと怖かったし転んでばかりで(やっぱり無理か…)と思ったけれど、1週間くらいしてちょっとだけ乗れるようになりました。そこからまた練習してまた1週間くらいたって3m位行けるようになって、夏休みの終わりには5m位進む日が多くなっていました。夏休みが明けてからは、お昼休みの10分を使って毎日練習しました。その時私は5年生の担任だったので、給食も早く終わって片付けをして校庭に出ると、まだ誰もいなくて安心して練習をすることができました。児童会の当番活動のないクラスの子ども達も練習に付き合ってくれて、「今日はここまでが目標」と線を引いてくれたり、「もっとお腹に力を入れて!」「下ばかり見ないで少し先を見て!」とアドバイスしてくれたりしました。私が一輪車の練習をしていた時は、今思い出すと階段みたいに出来るようになっていったんだなと思います。出来ない時が続いて、ある日少し出来るようになる。またしばらく我慢の時が続いてぐっと上手に出来る時が来る。その繰り返しでした。しばらく我慢の時に嫌になってやめていたら、一輪車には乗れるようになりませんでした。くじけそうになっていた私に、ある男子が「先生! こけても笑顔!!」と言ってくれました。「こけても」っていうのは「転んでも」っていう意味です。転んだ時に、「あー、もー嫌だー!」とかつい叫んだりしてしまっていたんだけど、それ以来私が転ぶと誰かが「はい、先生こけても笑顔ね! スマイル!!」と言ってくれるので、「やめるー!」とか言えなくなりました。不思議なことに笑顔で頑張っていると、自然と前向きになれました。それからずっと、その言葉は私にとってとても大事な言葉で、一輪車だけでなく何かうまくいかない時に、(こけても笑顔、うまくいなくても笑顔で頑張れ!)と心の中で自分に言い聞かせることがよくあります。一生懸命やっていたら、きっと出来るようになる。あきらめずやっていたらきっといいことがある。私は、クラスの子ども達にも協力してもらって、ある日とうとう目標だった校庭の端から端まで一輪車に乗れるようになりました。毎日の練習時間がとても短かったので、3ヶ月くらいかかったと思います。振り返ったらみんなが拍手をしてくれた時のことは、今でも忘れることはありません。「やったー! できたー!!」と、学校中のみんなに大きい声で叫びたいような気持ちでした。一輪車に乗れたというだけでなく、自分がたくさんの大事なものを手にしたんだという思いがありました。

私の大きな目標は、「校庭の端からは端まで一人で乗れるようになること」だったけど、最初からそれは出来ないの、今週は5m、次は10mというように小さい目標にしたり、手をつないでもらって校庭の半分まで行くとか出来そうな目標を立てたりしました。そして、アドバイスや応援をしてくれたクラスの子ども達も頑張る、出来るようになりました。けがをした次の日は乗るのが嫌だったけど、「はい、先生今日も行くよ。」と言ってくれたから毎日続けられました。苦しい時が何度もあったけど、やめてしまわなくてよかった。次の学校でもその次の学校でも、休み時間に一輪車で子ども達と遊ぶことが出来るととても楽しかったです。

後期が始まるにあたり、皆さんにも「こんなことが出来るようになりたい。」ということがあるとと思います。前期にあきらめてしまったことがある人はいませんか? 勇気を出して、「こけても笑顔^^」で頑張りたいです。皆さんには無限の可能性がある。苦手なことにも挑戦してほしい。嫌だと思ったら先に進まなくなってしまうからね。周りに応援してくれる人もたくさんいるよ。私もみんなが頑張っていることを一生懸命応援します。お父さん・お母さん・家族、友達、そして先生。中洲小のみんなで、前期よりも更に楽しいいい後期にしましょうね。自分の目標をしっかりとって頑張っていきましょう。スタートが大事だからね。

最後に「いのち」に関わって皆さんにお願いです。1つ目、交通事故に気をつけること。登下校はもちろん休みの日に歩いて友達の家に行く時も、自転車乗りの時も、自分の命をしっかりと守ってください。私はいつでも中洲の子の安全を祈るような気持ちでいます。前期に大きな事故がなくて本当にホッとしています。後期も誰一人事故に遭わない中洲の子でお願いします。

2つ目、秋になって日が暮れるのが早くなっています。暗くなって一人で歩いていて、事件に巻き込まれたりしたら大変です。お家の人との約束をきちんと守ってください。

この後、各クラスで通知表をもらったり、後期の目標を立てたりする時間にしてください。



保護者の皆様、前期大変お世話になりました。コロナ関係の指示で対応しなければならないことや、年間計画の変更もたくさんあり、その都度ご心配ご迷惑をおかけしました。ご理解ご協力に心より感謝申し上げます。今度は後期が始まりました。何かありましたらその都度ご連絡させていただきますので、引き続きよろしくお願致します。